



もっとつながる。未来が動き出す。

2025年度 第1四半期決算について

(2026年3月期 第1四半期決算短信補足資料)

2025年8月5日

西日本旅客鉄道株式会社

1. 決算概要

<連結決算>

(単位：億円、%)

	2024年度 第1四半期	2025年度 第1四半期	対前年		2025年度 通期予想	対前年	
			増減	比率		増減	比率
営業収益	4,027	4,270	242	106.0	18,200	1,120	106.6
(うち運輸収入)	2,125	2,273	148	107.0	9,250	323	103.6
営業利益	582	633	51	108.9	1,900	98	105.5
経常利益	552	597	44	108.1	1,740	83	105.0
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	382	488	105	127.6	1,150	10	100.9

■決算のポイント

1. 概要

・まちづくりプロジェクトの開業効果に加え、大阪・関西万博による増収も寄与し、**5期連続の増収増益**

2. セグメント

・**モビリティ業、流通業**は、大阪・関西万博による増収やインバウンド需要増により、**増収増益**

・**不動産業**は、まちづくりプロジェクト（大阪・広島）の開業効果により、ホテル・SC業が好調に推移し、**増収増益**

・**旅行・地域ソリューション業**は、国内旅行事業の減等により、**減収減益**

■業績予想

・2025年度の業績予想は、想定の範囲内で推移していることから、5月2日公表の予想を据え置き

■株主還元

・500億円を上限に**自己株式を取得**(6月末時点で**276億円**)。年間配当は1株あたり86円の予想を据え置き

2. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2024年度 第1四半期	2025年度 第1四半期	対前年		主な増減要因	2025年度 通期予想	対前年	
			増減	比率			増減	比率
営業収益	4,027	4,270	242	106.0	【5期連続の増収】	18,200	1,120	106.6
モビリティ業	2,394	2,562	167	107.0	運輸収入の増	10,695	227	102.2
流通業	497	566	68	113.8	物販飲食業の増	2,200	117	105.6
不動産業	633	644	10	101.7	不動産賃貸・販売業の減、SC業の増、ホテル業の増	2,910	583	125.1
旅行・地域ソリューション業	442	431	△ 11	97.5	旅行事業の減	2,070	182	109.7
その他	59	66	6	111.2		325	10	103.5
営業費用	3,445	3,636	191	105.5		16,300	1,022	106.7
営業利益	582	633	51	108.9	【5期連続の増益】	1,900	98	105.5
モビリティ業	386	434	48	112.5	運輸収入の増	1,270	44	103.7
流通業	39	51	11	129.9	物販飲食業の増	140	1	101.2
不動産業	141	144	2	102.1	不動産賃貸・販売業の減、SC業の増、ホテル業の増	450	60	115.7
旅行・地域ソリューション業	5	△ 6	△ 11	—	旅行事業の減	10	△ 1	88.2
その他	7	8	1	117.9		35	△ 6	84.5
営業外損益	△ 29	△ 36	△ 6	—		△ 160	△ 15	—
経常利益	552	597	44	108.1	【5期連続の増益】	1,740	83	105.0
特別損益	7	35	28	508.9	固定資産売却益の増	△ 25	△ 13	—
法人税等	169	135	△ 34	79.9		505	46	110.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	382	488	105	127.6	【2期連続の増益】	1,150	10	100.9

※2024年度期末より、JR西日本の高架下貸付業の計上セグメントを「モビリティ業」から「不動産業」へ変更。前年同期の金額も、変更後の区分に基づき組み替えております。

3. 各セグメントの主な増減要因

(単位：億円、%)

		2024年度 第1四半期	2025年度 第1四半期	対前年		主な増減要因	
				増減	比率		
モビリティ業		営業収益	2,394	2,562	167	107.0	・万博・インバウンド需要を含む鉄道のご利用増
		営業利益	386	434	48	112.5	
流通業	物販・飲食	営業収益	436	506	69	116.0	・駅構内店舗売上の増
		【再掲:宿泊特化型ホテル】	【58】	【67】	【9】	【116.4】	・客室平均単価の増
		営業利益	34	47	13	138.5	
		【再掲:宿泊特化型ホテル】	【11】	【20】	【8】	【175.2】	
	百貨店	営業収益	57	55	△ 1	97.1	・免税売上の減
		営業利益	4	2	△ 1	62.3	
不動産業	不動産賃貸・販売	営業収益	376	329	△ 47	87.3	・投資家向け販売の減
		【再掲:不動産販売】	【216】	【180】	【△ 36】	【83.1】	
		営業利益	78	68	△ 9	87.4	
		【再掲:不動産販売】	【19】	【30】	【10】	【153.2】	・販売利益率差
	ショッピングセンター	営業収益	150	177	26	117.5	・平年度化を含むSC売上高増による賃料収入の増
		営業利益	33	43	9	128.3	
	ホテル	営業収益	103	134	31	130.2	・客室平均単価の増、前年度開業平年度化
		営業利益	△ 6	10	17	－	
旅行・地域ソリューション業		営業収益	442	431	△ 11	97.5	・国内旅行の減
		営業利益	5	△ 6	△ 11	－	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

4. 単体損益計算書

(単位：億円、%)								
	2024年度 第1四半期	2025年度 第1四半期	対前年		主な増減要因	2025年度 通期予想	対前年	
			増減	比率			増減	比率
営業収益	2,374	2,536	161	106.8	【5期連続の増収】	10,340	347	103.5
運輸収入	2,125	2,273	148	107.0		9,250	323	103.6
運輸附帯収入	28	34	5	119.2		132	7	106.4
関連事業収入	80	86	6	107.8		341	12	103.8
その他収入	140	141	1	100.9		617	3	100.6
営業費用	1,932	2,060	127	106.6		9,060	305	103.5
人件費	518	うち構造改革△80 531	12	102.4	単価増	2,155	79	103.8
物件費	915	1,010	95	110.5		4,740	136	103.0
動力費	142	156	13	109.7	再エネ賦課金の増	630	21	103.5
修繕費	264	313	48	118.3	業務波動による増	1,710	△ 9	99.4
業務費	508	541	33	106.5	WESTER関連経費の増	2,400	124	105.5
線路使用料等	89	97	7	108.2		400	43	112.1
租税公課	96	101	4	104.5		415	9	102.3
減価償却費	312	320	7	102.5		1,350	37	102.9
営業利益	441	475	34	107.7	【5期連続の増益】	1,280	41	103.4

※2024年度期末より、高架下貸付に係る収入を「運輸附帯収入」から「関連事業収入」へ変更。前年同期の金額も、変更後の区分に基づき組み替えております。

5. 運輸収入及び輸送人キロ

運輸収入

(単位：億円、%)

輸送人キロ

(単位：百万人キロ、%)

			2025年度 第1四半期	対前年		2025年度 通期予想	対前年		2025年度 第1四半期	対前年	
				増減	比率		増減	比率		増減	比率
新幹線	山陽	定期	31	2	109.3	—	—	—	249	18	107.8
		定期外	1,060	89	109.3	—	—	—	4,490	326	107.8
		計	1,091	92	109.3	4,520	207	104.8	4,739	344	107.8
	北陸	定期	5	0	115.9	—	—	—	37	4	114.6
		定期外	182	8	105.0	—	—	—	590	28	105.1
		計	187	9	105.2	810	28	103.6	628	33	105.6
	定期		36	3	110.2	—	—	—	286	22	108.6
	定期外		1,242	98	108.6	—	—	—	5,080	354	107.5
	計		1,279	101	108.6	5,330	236	104.6	5,367	377	107.6
在来線	近畿圏	定期	277	3	101.2	—	—	—	4,445	46	101.1
		定期外	518	34	107.0	—	—	—	2,635	143	105.7
		計	796	37	104.9	3,125	79	102.6	7,081	189	102.8
	その他	定期	53	0	101.2	—	—	—	898	4	100.5
		定期外	145	8	106.5	—	—	—	679	33	105.2
		計	198	9	105.0	795	7	101.0	1,577	37	102.5
	定期		331	3	101.2	—	—	—	5,344	51	101.0
	定期外		663	42	106.9	—	—	—	3,314	176	105.6
	計		994	46	105.0	3,920	86	102.3	8,659	227	102.7
合計	定期		367	7	102.0	—	—	—	5,630	73	101.3
	定期外		1,906	141	108.0	—	—	—	8,395	531	106.8
	計		2,273	148	107.0	9,250	323	103.6	14,026	605	104.5

※荷物収入は金額些少のため省略

6. 運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2025年度 第1四半期					
			対前年		主な増減要因		
			増減	比率			
新幹線	山陽	1,091	92	109.3%	基礎トレンド(102.6%)		+25
					特殊要因	・大阪・関西万博	+48
						・インバウンド需要の増※	+14
						等	
	北陸	187	9	105.2%	基礎トレンド(98.4%)		△ 2
					特殊要因	・大阪・関西万博	+10
						・インバウンド需要の増※	+1
						等	
	新幹線計	1,279	101	108.6%			
在来線	近畿圏	796	37	104.9%	基礎トレンド(100.3%)		+2
					特殊要因	・大阪・関西万博	+12
						・インバウンド需要の増※	+14
						・バリアフリー料金収受エリア拡大	+4
						・パンダ特需	+1
	その他	198	9	105.0%	基礎トレンド(100.8%)		+1
					特殊要因	・インバウンド需要の増	+3
						・パンダ特需	+2
						等	
	在来線計	994	46	105.0%			
運輸収入計		2,273	148	107.0%			

※荷物収入は金額些少のため省略
※大阪・関西万博影響との重複分含む

7. 設備投資（出資含まず）

（単位：億円、％）

	2024年度 第1四半期	2025年度 第1四半期	対 前 年		2025年度 通期計画
			増減	比率	
連結設備投資計	488	456	△ 32	93.4	－
自己資金	479	450	△ 29	93.9	2,915
負担金	9	6	△ 2	71.6	－
単体設備投資計	191	234	42	122.1	－
自己資金	182	227	45	124.6	1,955
（安全関連投資）	(135)	(168)	(33)	(124.5)	(1,285)
（その他）	(47)	(59)	(11)	(125.2)	(670)
負担金	9	6	△ 2	71.6	－

※株式等への出資は含めておりません。

・主な設備投資件名（単体）

車両新製（N700S、岡山近郊等）、保安防災対策（地震対策）、大阪駅西側エリア開発工事等

8. 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2024年度 期末	2025年度 第1四半期末	対前年	主な増減要因																																			
流動資産	6,173	5,601	△ 571	受取手形及び売掛金の減、未収金の減																																			
現金及び預金	1,256	941	△ 314																																				
棚卸資産	1,811	1,991	180																																				
その他の流動資産	3,105	2,667	△ 437																																				
固定資産	31,350	31,319	△ 30																																				
有形固定資産等	26,856	26,827	△ 29																																				
建設仮勘定	782	855	73																																				
投資その他の資産	3,712	3,637	△ 74																																				
資産計	37,523	36,921	△ 602																																				
流動負債	6,985	6,153	△ 832	<table><tr><th></th><th>2024期末</th><th>2025.1Q</th><th>増減</th></tr><tr><td>有利子負債残高</td><td>15,296</td><td>15,197</td><td>△ 99</td></tr><tr><td>【有利子負債平均金利(%)】</td><td>【1.28】</td><td>【1.33】</td><td>【0.05】</td></tr><tr><td>新幹線債務</td><td>961</td><td>961</td><td>－</td></tr><tr><td>【新幹線債務平均金利(%)】</td><td>【6.55】</td><td>【6.55】</td><td>【－】</td></tr><tr><td>社債</td><td>8,454</td><td>8,409</td><td>△ 44</td></tr><tr><td>【社債平均金利(%)】</td><td>【1.09】</td><td>【1.16】</td><td>【0.07】</td></tr><tr><td>その他長期借入金等</td><td>5,880</td><td>5,825</td><td>△ 54</td></tr></table> 親会社株主に帰属する四半期純利益 488、配当 △223					2024期末	2025.1Q	増減	有利子負債残高	15,296	15,197	△ 99	【有利子負債平均金利(%)】	【1.28】	【1.33】	【0.05】	新幹線債務	961	961	－	【新幹線債務平均金利(%)】	【6.55】	【6.55】	【－】	社債	8,454	8,409	△ 44	【社債平均金利(%)】	【1.09】	【1.16】	【0.07】	その他長期借入金等	5,880	5,825	△ 54
	2024期末	2025.1Q	増減																																				
有利子負債残高	15,296	15,197	△ 99																																				
【有利子負債平均金利(%)】	【1.28】	【1.33】	【0.05】																																				
新幹線債務	961	961	－																																				
【新幹線債務平均金利(%)】	【6.55】	【6.55】	【－】																																				
社債	8,454	8,409	△ 44																																				
【社債平均金利(%)】	【1.09】	【1.16】	【0.07】																																				
その他長期借入金等	5,880	5,825	△ 54																																				
1年内返済予定長期借入金等	1,387	732	△ 655																																				
未払金等	5,597	5,420	△ 177																																				
固定負債	17,736	17,970	233																																				
社債・長期借入金等	13,830	14,061	230																																				
退職給付に係る負債	1,706	1,731	25																																				
その他の固定負債	2,199	2,177	△ 21																																				
負債計	24,721	24,123	△ 598																																				
株主資本	11,296	11,280	△ 15																																				
資本金	2,261	2,261	－																																				
資本剰余金	1,840	1,840	0																																				
利益剰余金	7,207	7,467	260																																				
自己株式	△ 12	△ 288	△ 276																																				
その他の包括利益累計額	270	275	5																																				
非支配株主持分	1,235	1,241	6																																				
純資産計	12,801	12,797	△ 4																																				
負債・純資産計	37,523	36,921	△ 602																																				

9. 各種経営指標

(単位：％、億円、人)

	2024年度		2025年度	
	第1四半期	期末	第1四半期	期末予想
連結ROA	－	4.8	－	5.0
連結ROE	－	10.1	－	9.6
連結EBITDA	981	3,495	1,054	3,720
連結減価償却費	399	1,693	421	1,820

	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数（就業人員）	46,294	22,150	45,450	21,665	47,390	22,509	－	－
金融収支	△ 42	△ 32	△ 181	△ 147	△ 45	△ 36	△ 203	△ 187
受取利息・配当金	5	16	13	52	5	19	13	44
支払利息	48	49	195	200	51	55	216	231

ネット有利子負債／EBITDA	－	4.0倍	－	－
自己資本比率	－	30.8%	31.3%	－
1株当たり四半期(当期)純利益（EPS）	79.03円	240.08円	104.54円	244.43円
1株当たり純資産（BPS）	－	2,458.45円	2,502.86円	－

	2024年度		2025年度予想	
	中間	期末【年間】	中間	期末【年間】
配当の状況	37.0円	47.5円【84.5円】	43.0円	43.0円【86.0円】

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 感染症の発生・流行
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2025年8月5日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2025年8月5日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>